

施策番号	1002		
施策名	環境や社会に貢献できる農林業の育成		
概要	資源循環型産業として環境や社会に貢献するとともに、観光資源につながる農林業・農山村の魅力創出を図るなど、農林業の持つ多面的機能を生かした地域づくり・人づくりを進める。		
担当局・部室	産業観光局・農林振興室	共管局・部室	
上位政策	10 農林業		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 間伐面積(スギやヒノキの人工林における間伐面積)(ha/年)	a	a	915	875	721	121.4%	a	1.00	
2 「京の旬野菜」供給量(t)	a	a	9,858	10,307	10,267	100.4%	a	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。	17	97	228	49	18	409	c	
	4.2%	23.7%	55.7%	12.0%	4.4%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					25年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備等は、市民生活において実感しにくい施策であり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えため						24年度	B
(原因分析) 【客観指標】●間伐面積については、森林整備に対する補助施策の効果的な推進により、3年連続a評価と高い評価で安定している。 ●「京の旬野菜」供給量については、雇用対策を活用した「京の旬野菜」直売所の設置により、更に普及が進んだ結果、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】森林整備や「京の旬野菜」消費による環境負荷抑制効果が、市民生活において実感しにくい面があるため、前年度に引き続きc評価となっている。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	中山間地域等直接支払制度	35,951	36,041	良い	産業観光局
2	園芸振興	47,805	44,553	良い	産業観光局
3	家畜衛生防疫	5,948	6,003	良い	産業観光局
4	農業基盤整備事業	89,351	107,761	良い	産業観光局
5	京の川の恵みを活かす事業	3,528	3,542	普通	産業観光局
6	伏水・蔵まち構想(仮称)の策定・推進	—	9,496	—	産業観光局
7	森林病虫害被害防止対策事業	40,486	36,148	良い	産業観光局
8	地域産材利用促進強化事業(地域産材普及供給体制整備事業含む。)	28,501	31,555	良い	産業観光局
9	森の力活性・利用対策(森林バイオマス活用推進事業を含む。)	71,450	77,136	かなり良い	産業観光局
10	木質ペレット需要拡大事業	30,485	33,200	普通	産業観光局
11	山村都市交流の森運営管理	40,006	40,003	悪い	産業観光局
12	木質資源利用推進事業	2,784	4,484	悪い	産業観光局
13	京都型農林業プロジェクトの設置	7,249	—	—	産業観光局
14	農業用水路に治水機能を付加した雨に強いまちづくり推進事業	46,728	81,295	—	産業観光局
15	四季・彩りの森復活プロジェクト	47,307	85,960	—	産業観光局
16	京都発森林バイオマスエネルギー利活用推進事業	17,936	—	—	産業観光局
17	京都発森林バイオマスエネルギー利活用推進事業	—	7,223	—	産業観光局
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●農林業の環境や社会に対する貢献度が高まり、市民にも実感されるよう、水源涵養機能や二酸化炭素吸収源としての森林の公益的機能や、「京の旬野菜」の魅力、消費による環境負荷抑制効果を更に発信するなど、農林業の持つ多面的機能について市民啓発を積極的に行うとともに、農業用水路に治水機能を付加し、雨に強いまちづくりを推進するなど、市民生活の安心・安全の確保を図る。

施策名	1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成
-----	------	-------------------

指標名	間伐面積（スギやヒノキの人工林における間伐面積）（ha/年）	
-----	--------------------------------	--

担当課	林業振興課	連絡先	2 2 2 - 3 3 4 6
-----	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

本市のスギやヒノキの人工林における間伐面積

2 指標の意味

社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境保全等の公益的機能の確保状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：京都府林業統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	23年度	24年度		数値	根拠	
数値	915	875	40ha/年減	721	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成21年度現況値（535ha）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度1,000ha）から各年度の目標数値を等差的に算出	121.4%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		1,000	31年度	87.5%	京都市農林行政基本方針

備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から、平成24年度値が最新となる。
----	------------------------------------

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
a	a	a

指標名	「京の旬野菜」供給量（t）	
-----	---------------	--

担当課	農業振興整備課	連絡先	2 2 2 - 3 3 5 2
-----	---------	-----	-----------------

1 指標の説明

京の旬野菜認定生産者による、フードマイレージの低い農産物の生産量（フードマイレージ：食料の重量と輸送距離を掛けて得られる指標）

2 指標の意味

社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境負荷の抑制状況を表す指標

3 算出方法・出典等

事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	23年度	24年度		数値	根拠	
数値	9,858	10,307	449t増	10,267	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度現況値（9,657 t）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度11,000 t）から各年度の目標数値を等差的に算出	100.4%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		11,000	31年度	93.7%	京都市農林行政基本方針

備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から、平成24年度値が最新となる。
----	------------------------------------

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、農業者の寄与度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

24	25	26
a	a	a